

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-248946

(P2002-248946A)

(43) 公開日 平成14年9月3日(2002.9.3)

(51) Int.Cl.

B 6 0 J 11/00

識別記号

F I

B 6 0 J 11/00

テーマコード(参考)

A

Q

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2001-49073(P2001-49073)

(22) 出願日 平成13年2月23日(2001.2.23)

(71) 出願人 501076715

堀場 勝

愛知県名古屋市長郷区松月町5丁目8番地

(72) 発明者 堀場 勝

愛知県名古屋市長郷区松月町5丁目8番地

(74) 代理人 100078721

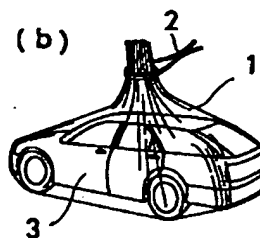
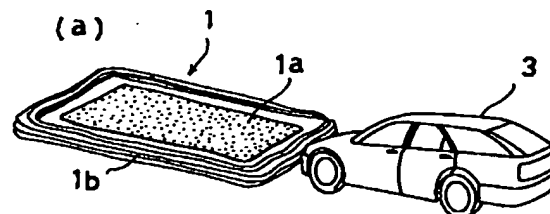
弁理士 石田 喜樹

(54) 【発明の名称】 車両用水害対策グッズ

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 車両が水没しても被害を最小限に留める。

【解決手段】 袋体1と結び具2とのセットで構成された車両用水害対策グッズを使用して、袋体1で車両3をすっぽりと包み込み、袋体1の開口部1bを結び具2で縛って密封し、冠水しても水から車両を守る。そして前記袋体1は、車両の垂直方向投影面をカバーする大きさの底1a付きタイプで、開口部の周縁を底の内面周縁に重なり合うよう蛇腹状に折りたたみ可能としたり、車両の水平方向投影面をカバーする大きさの底1a付きタイプで、底1a及び開口部1bの外周適宜部位に紐体を取り付けられたものとすることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項１】 防水及び耐久性に富んだシート地で形成され、車両全体をすっぽりと覆う大きさの袋体と、その袋体の口を閉塞する結び具とのセットで構成された車両用防水対策グッズ。

【請求項2】 袋体が、車両の垂直方向投影面をカバーする大きさの底付きタイプで、開口部の周縁を底の内面周縁に重なり合うよう蛇腹状に折りたたみ可能な車両用防水対策グッズ。

【請求項3】 袋体が、車両の水平方向投影面をカバーする大きさの底付きタイプで、底及び開口部の外周適宜部位に紐体に取り付けられている車両用水害対策グッズ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、最小限の費用で車両を水害から守るための車両用水害対策グッズに関する。

【0002】

【従来の技術】思ひもかけない大雨により引き起こされる水害は、毎年どこかで起こっている。排水設備が不完全な低地では、毎年台風の度に床下、床上浸水見舞われる地域が数多くあるし、高台だからといっても、短時間で記録的な降水量があれば、堤防の決壊によって一気に押し流されたり、水没してしまうこともある。しかしながら一夜明ければ水は引き、その現場には、必ずといっていいほど、泥にまみれた無残な車両の姿がひときわ目を引く。車両を水害から守るには、大雨が予想される度に安全な場所に避難させるしかないが、地域的に安全な保管場所の確保が難しいことや、一旦水嵩が増え始めてからでは遅すぎるなど、これといった有効手段がなくお手上げ状態である。ただ、上下二段式のカーポートを利用し、ある高さまでリフトアップさせておく手もあるが、一台しか助からないので合理的とはいえない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 畳や建具、電気製品などを除き、家屋は水洗いするなどして改装しさえすれば、新築の数分の一の費用で再使用に耐えうるよう復元することが可能であるし、その後数十年経た今も受け継がれている家屋も残っている。しかしながら一旦水没した車は内部の隅々まで泥水が進入し、シートは使い物にならないほど汚れてしまっているし、エンジンルームまで水に浸かったとすれば、エンジンのオーバーホールが必要となり、部品交換などして復元するには多大な費用を要する。又仮に復元できたとしても、耐久性の問題や電気系統のトラブル発生が懸念されるため、ほとんど破棄処分されているのが現状である。廃棄処分は新車と同様であり、数百万円する高級外車として例外ではない。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、発想こそ奇抜

であるが、実用性のきわめて高い車両用水害対策グッズであって、その構成は、防水及び耐久性に富んだシート地で形成され、車両全体をすっぽりと覆う大きさの袋体と、その袋体の口を閉塞する結び具とのセットで構成されたことにある。そして前記袋体は、車両の垂直方向投影面をカバーする大きさの底付きタイヤで、開口部の周縁を底の内面周縁に重なり合うよう蛇腹状に折りたたみ可能としたり、車両の水平方向投影面をカバーする大きさの底付きタイヤで、底及び開口部の外周適宜部位に紐体を取り付けられたものとすることができる。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明に係る車両用水害対策グッズを図面に基いて説明する。図1において、1は、車両の垂直投影面積をカバーできる4.5m×2.5mの平らな底1aを有し、一般的な乗用をすっぽりと覆うことのできる大きさの袋体であり、防水及び耐久性に優れた合成樹脂製のシート地で形成されている。そしてその袋体1の周側部1bは、開口部1cの周縁を底1aの内面周縁に重なり合うよう蛇腹状に折りたたみ可能になっており、特に底1aの部分はガラス繊維の織り込みによって強化されている。そして2は、前記袋体の開口部1cを束ねるようにして固く結び、閉塞するための結び具であり、これも水に強い合成樹脂製である。

【0006】このように袋体1と結び具2とのセットで構成された車両用水害対策グッズは、先ず車両を停車させるスペースに、袋体1の底を車両の真下に位置合わせをした後、開口部1cの周縁を底の内面周縁に重なり合うよう蛇腹状に折りたたんでセッティングする(図2のa)。袋体1のセッティングが完了したら、袋体1内に車両3をゆっくりと乗り込ませ、袋体1の周側面を真上へたぐり上げ、開口部を車両の屋根部を中央にて束ね、結び具2にて閉塞する(図2のb)。

【0007】このように袋体1で車両3を完全に包み込んでしまえば、冠水しても車両3は袋体1で守られ、室内は勿論、エンジンルーム内への水の浸入も阻止され、車体には泥や塵の付着すらない。使用はいたって簡単であるから、水害が予想される直前でも対応できるし、使用する場所も選ばない。そして何よりも簡単な構成であるから、安価にて提供することができ、それでいて効果は抜群である。尚、袋体を透明或いは半透明のシート地で形成すれば、外部より車両の状態が観察できる。

【0008】前記実施例は、車両を乗り込ませた後、たくし上げるようにして全体を包み込み、開口部を屋根の中央付近で結ぶため、踏み台を利用したり一人では作業しづらいこともあるが、予め車両を乗り入れ可能な形状にしておけば作業性を向上させることができ、次にそのような変更例を説明する。

【0009】図3において、袋体4は、横長い筒状で、片端は底4aで塞がれ、底4aの周りと開口部4cの周りとは紐体5、5・・・が取り付けられ、周側部4の内面

には、長手方向に平行な二筋の補強シート6、6が貼り付けられている(図4参照)。このように形成された袋体4は、図4に示すように、例えばカーポート7の梁などに紐体5、5・・・を結びつけて筒状の車両の乗り入れ空間を形成し、その中に車両3を乗り込ませて結び具2にて開口部4cを塞げばよい。開口部を塞ぐ場合、前記実施例のようにたくし上げて屋根の上で結ぶには脚立などを利用しなくてはならないが、袋体を横長にセットすることで、低い位置にて一人でも開口部を閉塞できる。いずれもクレーンなどの重機は必要ないので、一般家庭でも手軽に利用でき、車輪と接する部分が補強されているので信頼性も高い。前記袋体を結んだ結び具は、立ち木などに縛り付けておくことで、水位が高くなっても流されることが防止される。

【0010】尚、複数の試作品に対して実験したところ、いずれも期待した結果が得られ、ごみ回収用のポリ袋を繋ぎ合わせて形成したものにあっても、タイヤが完全に隠れてしまう程度の水位では、エンジンルーム内への水の浸入は確認されなかった。しかしながらそれ以上の水位についての実験は、専用の設備がないことや、川や池で行うとしても大掛かりな機材が必要であるし、現実の洪水を想定すれば、浮き上がって器物に衝突したり、流されてしまうなどのリスクがあるので実施はしていないが、現在入手可能なシート地で充分対応できると確信している。又、あまり大きな袋体は、水位が増すと車両の周囲に漂うので、空気を抜いて袋対を車体に密着するようにすることにより好結果が得られたことを報告しておく。そして袋体と結び具との材質や形状は実施例に限定されるものでなく、袋体形成用のシートは、麻布

の表面にゴムをコーティングしたものや、布地の表面にビニールシートを貼り合わせたものなど、所定の防水性と耐久性が確保できるもの、又結び具は、合成樹脂の紐体以外、ワイヤー内蔵の紐体や、金属或いは合成樹脂製のクランパーなどを採用しても差し支えなく、袋体の大きさや形状、紐体の取り付け位置などは、車種によって選択できるよう複数種類を設定しておくことが望ましい。

【0011】

- 10 【発明の効果】本発明によれば、水害の予防策として、車両の水没が予想された場合、袋体で包み込むことにより、水没しても車両を水から保護し、難を逃れることが可能となる。そして袋体が、開口部の周縁を底の内面周縁に重なり合うよう蛇腹状に折りたたみ可能であれば、重機などを利用せず、手軽に利用できる。又、袋体の底及び開口部の外周適宜部位に紐体に取り付けられていれば、カーポートを利用して筒状の車両の乗り入れ空間を形成しやすいので、作業を行うのは一人で十分である。

【図面の簡単な説明】

- 20 【図1】本発明に係る車両用水害対策グッズの説明図である。

【図2】車両用水害対策グッズの使用説明図である。

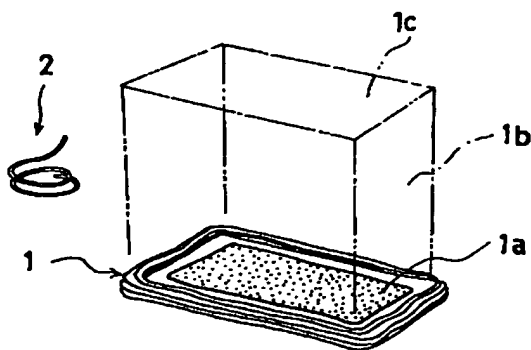
【図3】車両用水害対策グッズの変更例を示す説明図である。

【図4】変更例の使用説明図である。

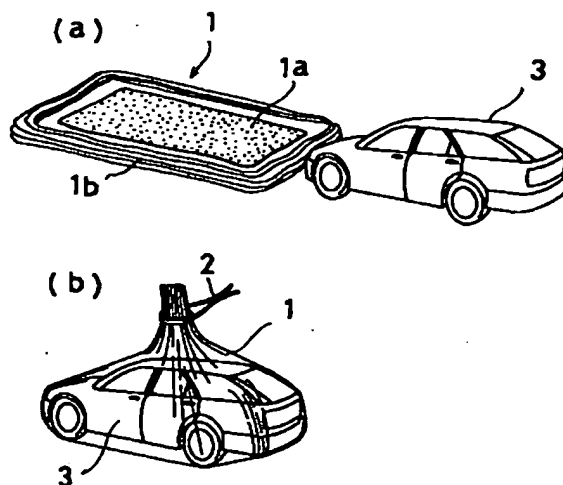
【符号の説明】

1・4・・・袋体、1a・4a・・・底、1b・4b・・・開口部、1c・4c・・・周側部
2・・・結び具、3・・・車両、5・・・紐体、6・・・補強シート、7・・・カーポート。

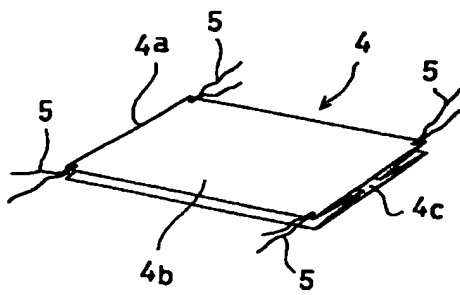
【図1】



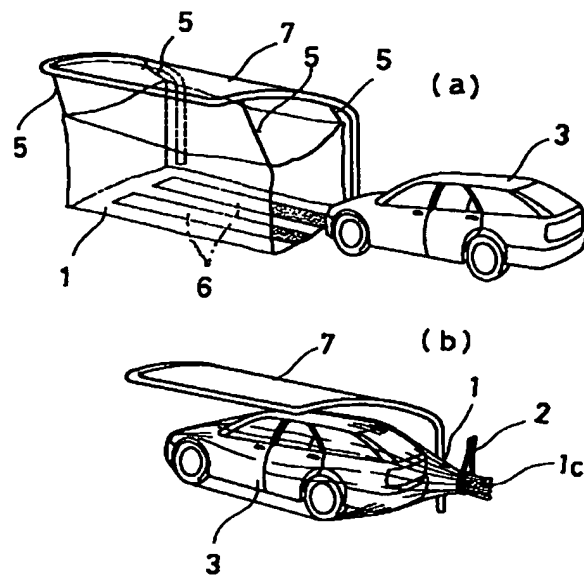
【図2】



【例3】



【图4】



PAT-NO: JP02002248946A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002248946 A
TITLE: GOODS FOR FLOOD-CONTROL MEASURE FOR VEHICLE

PUBN-DATE: September 3, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
HORIBA, MASARU	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
HORIBA MASARU	N/A

APPL-NO: JP2001049073
APPL-DATE: February 23, 2001

INT-CL (IPC): B60J011/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To minimize a damage when a vehicle is submerged.

SOLUTION: A vehicle 3 is completely wrapped by a baglike body 1 by using goods for a flood-control measure for a vehicle which comprises a set of the baglike body 1 and a tying tool 2, and an opening part 1b of the baglike body 1 is sealed by tightening with the tying tool 2, thus, the vehicle is protected even when it is covered with water. The baglike body 1, in a type with a bottom 1a which covers a surface of projection in a vertical direction of the vehicle, the periphery of the opening part can be folded in an accordion state so as to overlap on the inner face periphery of the bottom. In a type with a bottom 1a which covers a surface of projection in a horizontal direction of the vehicle, it is possible that a rope is mounted on the outer periphery suitable part of the bottom 1a and the opening part 1b.

COPYRIGHT: (C) 2002, JPO